

千葉県社保協通信

2021年度 No.21 2022年 5月 27日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2022@themis.ocn.ne.jp

5.25 「千葉県総合計画」を考える 学習会

住民の声こそ 県政を動かす力

安心して住み続けられる 街づくりへ
いまこそ憲法活かし 住民目線で検証重要

熊谷俊人知事の県政運営の基本となる「千葉県総合計画」が作られました。「総合計画」では2022年度からの3年間で重点的に取り組む政策・施策を「実施計画編」としています。はたして、コロナ禍で苦しむ県民の期待に応えるものなのでしょうか。

講師の加藤英雄氏は、初年度である今年度予算をもとに検証し、感染症対策、地域経済・雇用、防災、教育・子育て、教育、交通安全対策などの分野で県の責任が曖昧で予算も不十分と指摘。一方で、「新たな湾岸道路、千葉北西道路の具体化」や「千葉港中央地区心頭再編の推進」などの財政負担は県政の重石となるもので、不要不急の公共事業はじめ「市町村デジタル推進事業」などは見直しすべきものとなりました。

いま、県がやるべきことは、憲法を活かし、「地方



◎講師／加藤英雄氏（日本共産党千葉県議会議員）

5月25日（水）午後、千葉県社保協・千葉県自治体問題研究所の共催にて、オンライン併用で開催した学習会には48人が参加しました。

自治」の本旨に基づいて住民福祉の増進を図るためにその時点での地域住民の願い、要求を最優先で実現する内容になっているか。住民目線で検証することが重要と強調しました。

オンラインで集団視聴した千商連婦人部の木幡友子さんは「コロナと物価高騰に苦しむ中小業者の実態を県知事や県議会に届けて、県独自の支援策を求めたい」と語りました。

●県社保協・消費税廃止県連絡会・憲法共同センター●

選挙で変えよう!! 軍拡ストップ 暮らし守る政治に

5月24日（火）12時～13時。千葉駅そごう側通路での共同宣伝。保険医協会、新婦人、千葉労連、自治労連、千商連、法律関連労組、共産党、県社保協の8団体13人の参加で行いました。

「75歳以上医療費窓口2割化中止」署名に応じた「もうすぐ75歳」とおっしゃる女性は「孫たちのために」と「改憲許さない」署名も。「岸田首相は軍事費の倍化を狙っている。物価高騰で家計も苦しい。参院選挙で国民の思いを実現する候補者を国会に押し上げましょう」と呼びかけました。



憲法署名五筆・消費税署名一筆
75歳以上2割化中止署名一筆
が寄せられました。

－ 5.26 署名提出行動～社会保障拡充総決起行動－

いのち・暮らし・社会保障 立て直せ

5月26日（木）衆議院第1議員会館で「新しいのち」「介護改善」「75歳以上医療費窓口2割化中止」署名（合計158万筆）の提出行動が行われました。集会では医労連、民医連、自治労連、高齢期連絡会の代表が、コロナ禍で取り組んだアンケート結果等に基づいて現場・地域の実態を発言し、署名の紹介議員に応諾した立憲、共産、無所属の各議員が次々に連帯のあいさつをしました。

参加者は「参院選挙目前。社会保障の立て直しは急務の声を国会に届け、いのちまもる政治に変えよう」と決意を固めました。



千葉県社保協はWebで参加